

## 秋 令和3年度(2021)秋季地区予選

F(希望ヶ丘)	希望ヶ丘(連)	関東六浦	横浜立野	横浜栄	勝点	得失	順位
希望ヶ丘・緑園連合		5-7	5-8	0-12	0	-17	4
関東六浦	7-5		14-19	2-15	3	-16	3
横浜立野	8-5	19-14		0-10	6	-12	2
横浜栄	12-0	15-2	10-0		9	35	1

## 春 令和4年度(2022)春季地区大会

G(横浜長浜)	横浜	希望ヶ丘(連)	磯子工	瀬谷	勝点	得失	順位
横浜		10-0	9-1	14-4	9	28	1
希望ヶ丘・緑園連合	0-10		9-11	3-9	0	-18	4
磯子工	1-9	11-9		2-10	3	-14	3
瀬谷	4-14	9-3	10-2		6	4	2

## 第104回全国高校野球選手権神奈川大会

【1回戦】10日 小田原球場  
試合時間2時間3分  
厚木 1 0 0 0 1 1 1 0 1 | 5  
希望ヶ丘 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 0

(厚) 青木-井上  
(希) 長田、橋本-横山  
▽二塁打 中村(希)  
▽犠打 青木、鈴木(厚) 橋本、古森(希)  
▽失策 横山、今村(希)  
▽暴投 長田(希)  
▽捕逸 横山(希)

## 野球部3年間の思い出

K75 長田陽真

自分の3年間はコロナ禍で例年より2ヶ月遅れて始まりました。さらに、自分の代は選手2人マネージャー1人の3人と言う少ない人数でのスタートでした。その上、自分以外の2人は途中で退部してしまい、約1年間、学年1人きりでした。部員が少ないため、連合チームを組むことにもなりました。その連合チームで自分が最も印象に残っているのは、春の地区予選の横浜高校との試合です。全国レベルの打者と対戦し、打者3人で終わったイニングをつくれたことは自信になりました。また、横浜高校の能力以外の強さにも触れ、結果は5回コールドでしたが、合同チームや人数の少ないことの難しさの中でこの試合が出来たことは、自分の野球人生において大きなターニングポイントとなりました。

3年の4月には神高野球部120年の歴史のためにも、単独チームを組めるように、勧誘に励みました。なんとか選手を揃え、選手14人マネージャー2人で夏の大会に臨みましたが、厚木高校に敗れ、初戦敗退となりました。自分自身も熱中症で最後まで試合に出れないなど、悔しさしか残らない結果でした。チームをまとめる上で、命令するだけでは届かないという考えで、2年間下級生と接していましたが、中学時代、怪我で最後の大会で思うようなプレーができなかった経験があり、最後の大会に強い思いを持っていた自分とまだ時間がある下級生との気持ちの差も感じられ、自分の最後の大会に対する気持ちを伝播させられなかったことから、学年1人でチームを率いるにあたっての下級生との親密さと上級生としての威厳との間のバランスの難しさが改めて身に染みました。そんな中でも、優しく接して下さった先輩と彼らなりについて来てくれた後輩のおかげで孤独を感じることはありませんでした。楽しくも厳しい3年間でしたが、希望ヶ丘野球部でプレー出来たことは誇りであり、この野球部での経験を活かしてこれからの人生及び、野球人生を進んでいきたいと思えます。

また、希望ヶ丘野球部のさらなる発展、活躍を願うと共に、神高野球部120期生として恥じない人生を進んでいきます。